

## 福岡県立東筑高等学校

### 新聞部

#### 『折尾のまち』

私たち東筑高校新聞部は、近隣へ取材に行ったり、身近な話題について調査したりして記事にし、年に三回、東筑高校新聞を発行している。

昨年、本校が創立一〇周年を迎えるにあたり、私たちは本校とそれを育んできた折尾のまちの歴史について調べ、文化祭や一〇周年記念式典でその成果を発表した。

展示資料を集めるために、多くの文献を読み、折尾のまちに残っている史跡を訪れた。

当時の写真や堀川の車返しの跡、折尾高校にある資料館などを見て、筑豊炭坑の石炭の流通で活気に溢れていた頃に思いをはせた。

エネルギー革命後は学園都市となり、現在も折尾駅や堀川を中心に多くの人々が集まり、にぎわっている。

折尾の長く深い歴史を知り、折尾にますます愛着が湧いた。

現在制作している三学期号では、東筑生がよく利用する折尾の店を紹介する。そのためにお店の方々に取材し、話を聞いた。

皆笑顔で親切に受け答えして下さった。「いつも東筑生のことを気にかけている。」と話して下さった方もいた。

私たちはいつも折尾のまちに見守られているのだと感じた。

これらの方々の温かな人柄も、折尾の良さであると思う。

これから、進学や就職で地元を離れることがあるかもしれない。だが、折尾はいつまでも故郷として、心の中で生き続けると思う。

折尾と関わられたことをうれしく思い、この歴史ある温かなま

ちが、いつまでも栄えていくことを願う。

## 福岡県立折尾高等学校

### 情報ビジネス科3年

吉田 崇将

#### 『私が望む折尾』

折尾は、学園都市と呼ばれるだけあって多くの学校が折尾を拠点としている。

だから、折尾だけではなく、他の市区町村からも多くの学生が集まっている。

そして、大学には県外からも多くの学生が集まっており、学生向けの設備が充実しているまちでもある。

しかし、これらの学生たちの中でマナー違反やゴミの不法投棄（ポイ捨て）など、モラルの

欠如も多くみられる。

そのため、折尾のまちの風紀を乱し、近隣の人々に多大な迷惑をかけたりにしている。

これらを改善するには、学生一人一人の自覚意識を高める必要があるのには間違いだが、簡単に学生全員の行動を改善するのは難しい。

そこで、私はこの状態を打破するには、学園&地域交流ネットワーク」を中心とし、折尾のまちが一体となつて問題解決を図る必要があると思う。

もし、この問題を意識し合い、みんなが努力し、学生のマナーが向上することができれば、今以上により良い折尾のまちにすることができると思う。

そしてこの良い環境が人をつくっていくのだと思う。

そのためにも、まずは自分自身の意識を高め、率先して、意識改革に努めたい。